



# 給食だより

10月号 さいたま市立新開小学校

家庭数

秋風の心地よい季節となりました。秋は穀物や果物などの収穫が多くなる時期であることから、「実りの秋」とも言われます。新開小学校の給食に使われているお米も、この秋収穫されたばかりの「新米」になりました。10月の献立には、きのこ、栗、ぶどうなど秋に旬を迎える食べ物をたくさん取り入れています。

自然の恵みや給食を作ってくれた方々に感謝して、よく味わって食べましょう♪

かつ せかいしょくりょう げっかん

## ●10月は「世界食料デー一月間」です。

10月16日は、国連が制定した「世界食料デー」。世界の食料問題について考える日です。日本では、10月の1か月間を「世界食料デー一月間」としています。

世界ではすべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されているにもかかわらず、10人に1人が慢性的な栄養不足に陥っていると言われています。世界では毎年、食用に生産されている食料の3分の1にあたる13億トンが捨てられています。

日本のような先進国では「食べ残し」や「賞味期限切れ」によって捨てられる食べ物が多いです。

世界で毎年ムダになっている食料

**13億トン**

生産された食料の1/3

## ●食品ロスを減らすために…ひとりひとりができること

新開小学校の給食では、毎日およそ5kg程度（多い時は10kg程度）の食べ残しが出ています。ひとりひとりが残している量は少なくとも、全員分が集まるとかなりの量になります。

体調や体質などで食べられない、やむを得ない事情で食べる時間がなかったなどの場合もありますが、もし好き嫌いで残しているのであれば、「もう一口チャレンジして食べてみてほしい…」と思います。

栄養バランスの面ももちろんですが、目の前の食事が世界の食料問題につながっているということを改めて考え、自分自身の食べ方を振り返る1か月にしてみてくださいね。

